



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-47-3981
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

平成24年12月

うるわし通信

今年をふりかえって

早くも12月です。走馬灯のよう
にあっ気なく過ぎたような気
もしますが、印象深い日時が
あったことも事実です。

平凡ですが、この一年をふり
返ってみたいと思います。

まず1月20日です。この日、
文化部は「論座」と共催して、
講師に朝日新聞の西見誠一氏を
迎え教育問題について、折柄大
阪の新しい教育条例を論じて頂
きました。参加者は70名を超え
ました。

その興奮もさめやらない22日
は「新春交流昼食会」を催しま
した。参加者43名。本会を立ち
上げて総会は無難、毎年開いて
いますが、交流会は初めてでし
た。わたしたちの会の大きな特
色は、意見の異なる者同士を仲
間にいれていることです。思
想・党派・閥をこえて「うるわ
しの会」を作っているのです。
意義のある交流会だったと思
います。

6月は恒例の総会でした。発
足時の任期を終え、新なメン

バーが6名加わり新出発の期待
感の高まる中で、景観部会
は、景観の破壊を防止しよう
と上之庄への上新電機の店舗
進出計画に「待った」を
かけ、数ヶ月の交渉の結果、上
新電機側に色彩、その他につ
いて大幅な譲歩を引き出しま
した。

10月19日今年新設された教
育部会の学習会は「いじめ問
題」について、制度的な問題
にもふれ、盛り上がりました。
参加者30名でした。

翌11月16日、再び「いじ
め」について永年教育現場に
携わって来られた土方由起子
氏に話題提供して頂きました。
参加者15名、とても興味
深いテーマを次々に提出さ
れ、参加者も初めて現代の
「いじめ」の実態を知り、こ
れまた大いに湧きました。特
筆すべきことは1月の教育問題
の時も、今回も参加者の中
でただちに「うるわしの会」へ
の入会者があったことです。

11月21日歴史部会を開催、
10名をこえる程度でしたが会
員による研究発表を行いました。
教育部会も歴史部会も新
しい顔ぶれと出会うことが
もっとも嬉しいことでした。

こうしてみますと熱気のある
部会活動が人を惹きつけ、
更なる活性化を呼ぶというこ
とが判かりました。他の部会
も活火山となって欲しいとい
うのが正直な気持ちです。

来年の目標の一つは若返り
です。本誌の発行編集人も80
歳になります。こういう老人
に未来のまちを語らせるのは
大きな間違いです。若い方の
奮起を期待して新年を迎えたい
ものです。



教育部会 第2回教育を考える学習会 「学校」のなかのいじめ

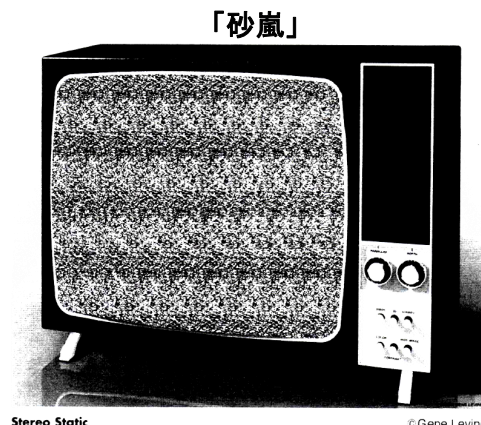
— 私たちにできること —

話題提供者 土方由起子（ひじかたゆきこ）

土方氏は永年、中学校教諭として教育現場に立たれ、現在は奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程に在籍され、かたわら奈良女子大学附属中等教育学校の非常勤講師をされています。

まず参加者一同に砂嵐（画像参照）を示され、この中にある文字を読みとって下さいといわれ、一同頭をひねったものの正解者は一人もいませんでした。このように「いじめ」は集団の中で発生するが、実態を把握するのは観察する努力と訓練を要すると。導入の部分から始まって、豊富な事例をあげての懇切な話しと、後半には参加者をまき込む活発な議論を呼び起こしました。本会の「話題提供者」として最良の方をお招きすることができたと、教育部会も事務局一同も喜んだ次第です。

当日、提供された図の一部をここに掲示しますが、読者の皆さんも子どもの悩んでいることについて関心を寄せて頂ければ幸いです。



「25の瞳」

A=いじめには入らない B=いじめだが、よくあることだ
C=悪質ないじめで、無くしたい

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ☐ | 1 掃除やお茶当番など自分のやるべきことを他の人にやらせる |
| ☐ | 2 体操服や教科書など、自分が忘れた物を他の人に借りに行かせる |
| ☐ | 3 ノートや人に書かせたり、宿題を他に人にやらせる |
| ☐ | 4 自分の鞆や荷物などを無理に他の人に持たせる |
| ☐ | 5 本人が行きたがらないところに無理やり誘って連れて行く |
| ☐ | 6 人のお弁当のおかずを取る |
| ☐ | 7 お金や文房具など借りたまま返さない |
| ☐ | 8 お金をくれと言ったり、都合してこいという |
| ☐ | 9 陰口を言ったり、ありもしないことを言いふらす |
| ☐ | 10 嫌なあだ名やその人が気にしていることを人前で言う |
| ☐ | 11 通りすがりに聞こえるように「ウザイ」「キモイ」という |
| ☐ | 12 教科書やノートなどをわざと隠したり、作品を壊したりする |
| ☐ | 13 嫌がらせの落書きをする |
| ☐ | 14 ほかにの人に命じて暴力をふるわせる |
| ☐ | 15 遊びだと言って首を絞めたり、押さえ込んだりする |
| ☐ | 16 たいした理由もないのに殴ったりけったりする |
| ☐ | 17 部活動で下級生にお辞儀や挨拶を強制する |
| ☐ | 18 グループ活動で同じ班になったとき露骨に嫌な顔をする |
| ☐ | 19 自分も悪いのに相手にだけ謝らせる |
| ☐ | 20 親や先生に告げ口するなど口止めする |
| ☐ | 21 隣同士になったときわざと机を合わさず避ける |
| ☐ | 22 グループから離れたいと思っても自由にさせない |
| ☐ | 23 授業中に人の迷惑になることをして授業を妨害する |
| ☐ | 24 なりすましメールを送って相手の反応をみる |
| ☐ | 25 嘘をついたり約束を守らない人をみんなで無視する |

歴史部会 会員による研究発表 11月21日 まほろばセンター第6研修室

玉置 修一郎

来年は天誅（忠）組挙兵150年ということです。天誅（忠）組は1863年（文久3年）尊王攘夷の志士が結成、五條代官所を襲撃したもので、幕末最初の反幕武装蜂起です。この挙兵は東吉野村などを1ヶ月半転戦の末、敗北しましたが、これが明治維新の魁（さきがけ）になったと高く評価されています。

その足跡を追うと最後は、同氏の住む中津道を駆け抜けて逃れたという発見。その他、桜井市内には天誅（忠）組の豊富な史跡やエピソードがあるとして、28ヶ所に及ぶ地名をあげました。天誅（忠）組はゆかりの五條市や東吉野村では既にプレ事業が催されているが、玉置氏は「大和・桜井・幕末維新を学ぶ会（YSB）」を立ち上げ、地元の自治会館で講座など催しています。



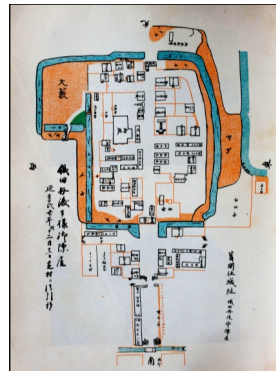
天誅（忠）組の志士の墓の前で説明する玉置さん



天誅組終焉の地 鷺家口

石井 一好

地元の戒重の歴史を古文書を勉強しながら研究を続けています。1341年落城した戒重城のことは、織田有楽斎の四男長政が1615年この地に封じられ1618年旧戒重城の地に陣屋を構えたこと。その後1745年陣屋の芝村移転により廃城となったことを史料により説明。旧戒重城の城主西阿（さいあ）は外山の玉井家と大神神社の神主であった高宮家の二系譜に推定されている。現存する栗殿極楽寺の五輪塔の研究など、興味深い話でした。五輪塔については自身の調査の結果、西阿の次男良圓、その子息醫王丸の墓で良圓の未亡人である尼良妙が建てたものと判明しました。古典『太平記』や古文書や古図、そして地元の旧家に伝わる伝承の聞き取りに基く研究の発表でした。石井氏はやがて一冊の本にまとめたいと意欲を示されました。



戒重藩陣屋古図



極楽寺の五輪塔

浅川 肇

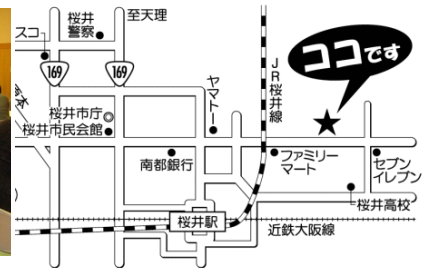
古事記の初代神武と二代綏靖の両天皇の治政の間に3年間の空位があるのではないか、二代綏靖が殺した兄タギシミミか、またはタギシミミと結婚した義母（神武の妻）が王権を握った時期があったのではないか、と神話ながら歴史の暗黒について話しました。彼は古事記を真に受けてはならないという派です。

第2回新春交流昼食会

来年の1月26日（土）正午から催します。
人恋しい季節です。久しぶりの姿や相変らず
の姿を見せにやって来て下さい。この交流会
は来年から独自の企画チームを設けたいと
思っています。そのためにも体験がてらお出
かけ下さっても結構です。

日時 平成25年1月26日（土）正午より

場所 桜井市粟殿「あるぼ〜る」



事務局だより

●12月の常任理事会は12月22日（土）午後1時30分よりエルト桜井第6研修室にて開きます。

会員だより

出版 芝房治 『道遥（はる）かなり奥吉野』

会員であり、本会設立発起人である芝房治氏が新著を発行されました。戦後の匂いの濃厚な時代の政治秘史として貴重な史料であり、史話となっています。舞台は昨年、大水害に見舞われた十津川もあり、過疎地野迫川あり、山村史の一部もかい間見られますし、交友のエピソードも豊富です。

第5章の「林業と山村集落の再生を考える」は著者の生涯のテーマの一つで、永年の研究による論説は林業のみならず、山村に暮らす人々の間でも熱い議論を呼ぶでしょう。

中でも、地方自治法により町村に限り議会を設置しなくてもよいという条文に則して、少数化した村民の間で禍根をのこす選挙は廃止しては？との大胆な提案は直接民主政治を考える意味で、わたしたちにも大きな課題を与えられました。

発行所は奈良新聞社 税込2100円 購入ご希望の方は本会、または桜井都市開発㈱電話0744-46-2222まで



会員募集中 どなたでも(市外の方も)入会できます。くわしくは事務局まで。

年会費 個人 ¥2,000 法人 ¥20,000

編集後記 折から総選挙です。この会は特定の候補の支援はしません。編集者個人の意見を申します。政治家として第一に人類を救おうという大誓願を持っているか否か。思想を語り、政策を論じるのは第二第三のことと私は思います。なお、維新という言葉が流行のようですが、私はそれよりも、その後の「自由民権運動」が何故、挫折したのかを問いたいと思います。

(あさ)

うるわし通信編集責任者
〒633-0091
桜井市桜井142-5-203
浅川 肇
TEL090-1961-6345